



左から 矢野安子さん(吉岡)、操本芳子さん(吉岡)、矢野美恵子さん(吉岡)、堀江利美さん(大ノ瀬)

吉岡花クラブ

吉岡の公民館で、月に一度第2火曜日)の教室で作品を作っています。花を摘んだら乾燥マットで水分をしっかりと取り除き、保管しておきます。いろいろな花を取り揃えておき、作品づくりに使っています。毎年季節が変わるごとに、「また今年もこの花が咲いたね」と移りゆく年月の早さにビックリします。

作品づくりは、花にすぐに湿気がくるので、一日で仕上げます。短い時間で構図を考えるのが大変です。いろいろな工程を経て、最後に空気を抜いて真空にします。このとき、毛一本の混入も許されませんが、最も集中力が必要な作業であり神経を使います。いつも思うようには仕上がらないのですが、出来上がりがとても楽しみです。みんなで出来上がった作品を並べて、お茶を飲むのが最高の楽しみ。とても良いひと時を過ごしています。



左から 平井アツ子さん(成恒)、岡山スミ子さん(成恒)、森竹孝子さん(豊前市)、木下シズ子さん(成恒)、上西久美子さん(成恒)

成恒押花クラブ

私たち成恒押花クラブは、成恒公民館で月1回集まって作品づくりをしています。平成16年に成恒の老人クラブから男性がいなくなり、当時の女性部は活動を継続するかどうか選択を迫られました。そのとき私たちは「みんなが集まってお話ししながら楽しく過ごす時間が欲しかったので女性部の解散は思い止まり、「押花をやってみよう」ということになったのがきっかけで、今があります。高齢のメンバーにとっては、このクラブは老後の楽しみであり生き甲斐にもなっています。押花の目が来るのが楽しみで仕方ありません。

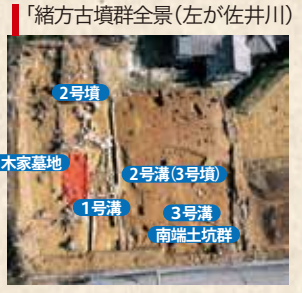
素材となる花はみんなで採りに行ったり分け合ったり、助け合いながら和気あいあいと仲良くやっています。「何もしなければ何も無い」という気持ちから、できる間は頑張っていきたいと思っています。優しく指導してくださるのは、森竹孝子さん。初心者でも気軽に始められます。素材に使える花がいろいろありますので、どうぞ遊びに来てください。



緒方古墳群の発掘調査

東九州自動車道建設に伴い、平成21年12月から翌22年3月にかけて行った佐井川右岸の緒方古墳群の調査内容を紹介します。

調査地は西から山林・畑として1m以上低くなる水田の3筆でした。まず幅1mほどの試掘溝4本を掘って周溝(幅1~2m前後の古墳を巡る溝)を探しました。その結果、山林と畑の境に石を組んだ溝が見つかりました。浅いところに石組があったので、山林・畑の全体を人力で10~30cm掘り下げた結果、次のようなものが見つかりました。



延びていました。この溝は14~15世紀頃に使用されていたようです。山林と畑の間の溝(1号溝)も東側だけに石組があり、西側は素掘りのままです。屈曲部付近には大きな石をかけて橋としています。これは後述する曾木家墓地への通路を造ったもののようにです。

今回の調査地点の南、現町営住宅の建つところは曾木墨荘(1772~1838)の旧宅があったところで、「八石屋敷」と呼ばれていました(墨荘については広報3月号をご覧ください)。墨荘の墓石は豊前市天地山公園南の矢野家墓所に移設されていますが、今回の調査では墓内部の改葬はされておらず、懐刀の副葬された2基のどちらかが墨荘本人の墓所であったものと思われる。



「六道銭と懐刀」

3号墳周溝の南に接するように、片側にのみ石を組んだ溝(2号溝)が、周溝と平行するように

福岡県教育庁総務部文化財保護課 飛野博文

図書館だより げんきの杜図書館 TEL 72-1633

『波羅蜜』 藤沢 周 毎日新聞社

『ブギウギ』 坂東眞砂子 角川書店

| | |
|----------------------|-------------------|
| 永田町権力の興亡1993-2009 | NHK取材班 |
| みるみるコレステロールと中性脂肪を下げる | 栗原 毅 日東書院 |
| 親として大切なこと | 松下幸之助 PHP研究所 |
| 私の家づくり 64 | 主婦と生活社 |
| 魔使いの過ち (上、下) | ジョゼフ・ディレイニー 東京創元社 |

環境ポスター入選作品

唐原小5年 とよだ たいせい 豊田 大生

環境標語入選作品

○持つてるよ すいとう、マイはし、エコバック

○リサイクル 巡る資源は エコの道

○ぼくたちが きれいにするぞ 上毛町

友枝小4年 松田 七海

南吉富小6年 林 葵

築上東中2年 高木 晟

はった 八田 杏裕未

あゆみ 杏裕未

※学校・学年の表記は3月時点のものです。

洋裁・和服リフォーム会

洋裁・和服リフォーム会は、おしゃべりが大好きなメンバー19人で趣味と実益を兼ねて楽しんでいます。月に2回、西吉富コミュニティセンターで活動しています。

洋服地はもろろんのこと、タンスの中に眠っている思い出の着物を取り出してくると、時代を経てきた色の美しさ、先人の技にため息が出ます。そんな「超」贅沢な着物から、今大流行の洋服へとリフォームに挑戦。私だけの世界に「着しかな」洋服に胸をときめかせています。

頭のトレーニングや指の運動をしながら、明るい楽しい雰囲気で作っています。

左から 井上英子さん(垂水)、秋吉都さん(垂水)、二反田和美さん(中村)、重松晴美さん(垂水)、井上節子さん(垂水)